

## I 令和 6 年度普及指導方針（案）

当管内は、平成 29 年 12 月に、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』伝統的水管理システム」として世界農業遺産に認定された宮城県北部の広域大崎圏の東部に位置し、鳴瀬川と江合川が貫流する肥沃な農地において農業が盛んに行われてきた地域である。管内の大崎市(旧松山町、旧鹿島台町、旧田尻町)、涌谷町、美里町の 1 市 2 町では、水稲、麦、大豆などの土地利用型作物を主体としながら、肉用牛や酪農などの畜産、施設や露地における野菜、花き、果樹などバランスの取れた農業生産が行われている。水稲では、「ひとめぼれ」や「だて正夢」などの主力品種をはじめ、巨大胚品種の「金のいぶき」、酒造好適米の「吟のいろは」の生産や、有機栽培への取り組みなど、多様な米づくりを展開している。園芸では、涌谷町を中心とした「こねぎ」、「ほうれんそう」、大崎市鹿島台地域の「トマト」、美里町の「加工業務用ばれいしょ」、「日本なし」などで県内有数の産地を形成している。更に、「にんじん」、「たまねぎ」、「さつまいも」などの加工業務用野菜の生産拡大のほか、美里町での大規模施設園芸の展開、涌谷町での「子実とうもろこし」の作付拡大など、需要に対応した取組も進められている。また、農家レストランなどのアグリビジネスや、農業法人を中心とした生産・加工・販売などの 6 次産業化の取組など、多彩な農業が展開されている。

一方、農業従事者の高齢化や人口減少による担い手・労働力不足、それに起因する農業生産力の低下が懸念されている。それらに対応するため農業経営の法人化や大規模化に加え、連携の動きがみられ、関係機関も支援を進めているものの、持続可能な地域農業を支える担い手の確保・育成や農業生産力の向上が課題である。そのため、市町が令和 6 年度末までに策定する「地域計画」の実現に向けた支援を展開していく。また、変化する生活スタイルやマーケットへの対応、頻発する自然災害など、様々な状況への対応が必要となっている。更に、長引く燃油・資材・飼料等の価格高騰などにより、農業経営へ大きな影響が生じていることから、経営の安定化に向けた支援が必要である。

このような状況を踏まえ、令和 6 年度は、安定生産技術の徹底による農業経営の安定化を図ることを基本としながら、地域農業を支える経営体の育成、農地の集積・集約化等による生産性の向上、園芸の取組拡大等による産地の強化、ICT等を活用した技術の見える化や生産の効率化、地域の特色のある農作物のブランド化などの取組を支援することにより、農業産出額の向上や競争力強化を図るものとする。また、耕畜連携や環境負荷低減技術導入を支援し、持続可能な農業生産を推進する。

活動に当たっては、「第 3 期みやぎ食と農の県民条例基本計画」、「みやぎ園芸特産振興戦略プラン」、「宮城県みどりの食料システム戦略推進基本計画」、「協同農業普及事業の実施に関する方針」及び「大崎地方振興指針」などとの整合を図りながら、「美里地域普及指導基本方針(令和 3 年度～令和 7 年度)」に掲げる「未来につなげよう 東部大崎地域の多彩な農業」をスローガンに、以下の 4 項目を本年度の重点活動項目として普及指導活動を展開するものとする。

### 重点活動項目

- 1 地域農業を支える多様な経営体等の確保・育成
- 2 水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立
- 3 地域の特性を活かした園芸、畜産の生産振興
- 4 持続可能な農業・農村の構築

## **1 地域農業を支える多様な経営体等の確保・育成**

管内の農業及び農村を支える経営意欲の高い担い手等の確保・育成を図るため、集落営農組織等の法人化への誘導や認定農業者の経営改善の取組、新規就農者等の経営安定や女性農業者の就業環境整備等の支援などを行う。また、農業生産工程管理（GAP）の導入やアグリビジネスへの取組など経営の高度化や円滑な事業・経営継承に向けた情報提供等を行い、関係機関一体となって支援する。

- (1) 設立間もない法人組織等の経営強化支援
- (2) 農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化の取組支援
- (3) 集落営農組織の法人化支援
- (4) 認定農業者の経営改善の取組支援
- (5) 農業生産工程管理（GAP）の導入及び経営の高度化の取組支援
- (6) 女性農業者の育成及び就業環境の整備等支援
- (7) 新規就農者の定着化及び就農希望者の経営計画樹立等支援
- (8) 農業経営の円滑な事業・経営継承に向けた情報提供

## **2 水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立**

水稻、麦類、大豆及び加工・業務用野菜等を含めた土地利用型作物の生産において、スマート農業等の革新的技術や省力化技術及び新たな生産体系の導入等による収量・品質の向上及び経営の高度化など、アグリテックの推進と、需要に対応した農産物の生産を支援する。

- (1) 水田収益力強化ビジョンの推進による水田農業の活性化支援
- (2) 土地利用型作物のICT技術等活用による省力化や効率化の取組支援
- (3) 金のいぶき、吟のいろは等の多彩な米づくり支援
- (4) 主要農作物種子の安定生産の取組支援
- (5) 土づくりや土壌環境改善等による農産物の収量及び品質向上の取組支援
- (6) 土地利用型の加工・業務用野菜(青ねぎ、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん、さつまいも等)の導入促進と安定生産支援

## **3 地域の特性を活かした園芸、畜産の生産振興**

園芸作物・畜産等の栽培や飼養管理技術等の高度化による高品質・安定生産を推進するとともに、農薬の適正使用の推進等により、安全・安心かつマーケットに対応した農畜産物の安定供給を支援する。

- (1) 主要葉菜類(こねぎ、ほうれんそう等)の安定生産支援
- (2) 施設園芸の安定生産に向けた支援と環境制御技術等の導入及び栽培管理技術の高度化の取組支援
- (3) 産地の維持・発展に向けた新技術等の普及及び定着支援
- (4) 土壌分析に基づく適正施肥管理の取組支援
- (5) 畜産経営における収益力強化の取組支援
- (6) 6次産業化等による経営の多角化の取組支援
- (7) 安全・安心な農畜産物の供給支援

## **4 持続可能な農業・農村の構築**

持続的な農業生産が可能となる体制や環境等の整備や、農村地域の活性化及び安定した農業所得の確保への取組を支援するとともに、自然災害や新型コロナウイルス感染症などの新たなリスクへの対応等の取組を支援する。

- (1) 耕畜連携の取組の推進と定着化の取組支援
- (2) 総合的病害虫・雑草管理技術等の導入と定着化支援
- (3) 地域資源、地域特産物のブランド化に向けた取組支援
- (4) 農業収入保険への加入等、経営継続のためのリスク管理への取組支援
- (5) 自然災害等からの復興支援
- (6) 生活スタイルの変化等に対応した生産・販売等の取組支援
- (7) 環境に配慮した生産に取り組む農業者等への技術支援